

当研究室では、現在7名（博士前期3名、博士後期4名）の大学院生が、それぞれの研究テーマに取り組んでいます。看護システムは、看護ケアの質の向上のためのしくみです。

博士前期（修士）課程では、マネジメントの諸理論を学習し、それらを応用しながら組織分析を行い、ヘルスケアシステムの変革に向けて研究やシステム開発を試みます。また、病院、施設、在宅などの多様なヘルスケアサービスの場におけるマネジメントを学習します。

博士後期（博士）課程では、深い学識や豊かな看護実践能力およびマネジメント能力をもとに、看護学の構築や自立して研究活動を行う能力を備えた研究者、高度専門識者、およびそれらを育てる教育者の育成を目指します。

## 主な研究テーマ

- 質評価・改善
- システム開発
- 看護職の人材育成

## 主な担当講義科目

- 看護管理学
- 保健・医療・福祉サービスマネジメント
- 機能看護学特論Ⅰ・Ⅱ
- 機能看護学演習Ⅰ・Ⅱ

## 大学院修了生の研究テーマ

### 修士論文

- ・病院と地域をつなぐ総合型ヘルスケアシステムの探索  
SSMアクションリサーチワークショップを通しての学び
- ・救命救急センター初療室における看護師の調整行為の構造に関する研究

### 博士論文

- ・地域包括ケアシステムにおける看護職の在宅シフト型コンピテンシー尺度開発の試み
- ・病院一般病棟における看護の質に関する研究  
アウトカムに影響を及ぼす構造・過程要因の検討
- ・助産師のキャリアの節目に関する研究

## 大学院進学を希望する方へひと言

本研究室は、看護管理に関する研究、看護職に関する研究を幅広く行っています。現場で抱える課題について研究を通して解決したいと思っている方々、また、教育者、研究者への道を考えている方々、ぜひ大学院に挑戦してみてください。学部学生の方々も、もちろんOKです。

この領域では、学部・大学院担当教員、博士前期、後期在学学生、ならびに修了した先輩諸氏を含めた交流を行っています。ライフワークを見つけてください。

## 大学院生の声

臨床での経験を活かしてあらためて学ぶことは、たくさんの気づきがあり、毎日充実しています。看護をもっと深めたいという思いがある人にとって、楽しく勉強できる環境が整っています（Tさん）。

大学院への進学は、自分の可能性の発見と新たな道を見つける貴重な機会となりました。自分の知りたかったことが明らかになった時の喜び、新たな扉を開ける時のわくわく感。チャレンジしたいことは、まだまだ沢山あります（Mさん）。